

令和3年度 埼玉県博物館連絡協議会

総会資料

1 議事

- 第1号議案 令和2年度事業報告（案）
- 第2号議案 令和2年度決算報告（案）
- 第3号議案 令和3年度事業計画（案）
- 第4号議案 令和3年度予算（案）

2 報告

- 入会・退会の状況について（資料1）
- 令和2年度 地域振興支援事業審査委員会報告について（資料2）
- 令和2年度 緊急時相互支援検討委員会の活動について（資料3）
- 令和2年度における各地域の活動報告について（資料4）
- 令和3・4年度 緊急時相互支援検討委員会及びIT担当館について（資料5）

令和3年5月

令和2・3年度 埼玉県博物館連絡協議会 役員等名簿

令和2・3年度 役員館 (◎印は会長、○印は副会長、◆は監事)

役職	地 域	館 名	職 名	氏 名
◎	南 部	埼玉県立歴史と民俗の博物館	館 長	村田 章人
	南 部	さいたま市大宮盆栽美術館	館 長	老川 慶喜
◆	南 部	戸田市立郷土博物館	館 長	高屋 勝利
	西 部	坂戸市立歴史民俗資料館	館 長	粟生田 一裕
	西 部	城西大学水田美術館	館 長	藤野 陽三
	西 部	公益財団法人 遠山記念館	館 長	鈴木 廣之
◆	西 部	新座市立歴史民俗資料館	館 長	川端 真実
○	東・北部	八潮市立資料館	館 長	高山 治
○	東・北部	埼玉県立さきたま史跡の博物館	館 長	末木 啓介
	秩 父	秩父市立荒川歴史民俗資料館	館 長	古田 秋吉

令和2・3年度 地域振興支援事業審査委員館

地 域	館 名	職 名	氏 名
南 部	さいたま市大宮盆栽美術館	館 長	老川 慶喜
西 部	公益財団法人 遠山記念館	館 長	鈴木 廣之
東・北部	八潮市立資料館	館 長	高山 治
秩 父	秩父市立荒川歴史民俗資料館	館 長	古田 秋吉

令和2・3年度 地域子一ツ館

地 域	館 名	職 名	氏 名
南 部	埼玉県立近代美術館	学 芸 員	佐原 しおり
西 部	朝霞市博物館	館 長	赤澤 由美子
東・北部	春日部市郷土資料館	主 査	榎本 博
秩 父	埼玉県立自然の博物館	担当課長	飯島 俊

<参考>

令和3・4年度 緊急時相互支援検討委員会

役職	地域	館名	職名	氏名
委員	南部	さいたま市立博物館	館長	高力 弘
委員	東・北部	宮代町郷土資料館	主査兼学芸員	横内 美穂
委員	西部	埼玉県平和資料館	主査	服部 武
委員	秩父	秩父美術館・佛教資料館	館長	西 勝寿
委員長	事務局	埼玉県立歴史と民俗の博物館	主席学芸主幹	岡本 健一

令和3・4年度 IT担当館

役職	地域	館名	職名	氏名
委員	南部	蕨市立歴史民俗博物館	主事	堀 恵理奈
委員	東・北部	埼玉県立川の博物館	学芸員	藤田 宏之
委員	西部	富士見市立資料館（難波田城資料館）	館長	早坂 廣人
委員	秩父	埼玉県立自然の博物館	担当課長	飯島 俊
委員長	事務局	埼玉県立歴史と民俗の博物館	担当部長	長谷川 晋

令和3年度 事務局

役職	館名	職名	氏名
事務局 長	埼玉県立歴史と民俗の博物館	副館長	水口 由紀子
事務局 次長	埼玉県立歴史と民俗の博物館	主席学芸主幹	岡本 健一
幹事	埼玉県立歴史と民俗の博物館	担当部長	長谷川 晋
幹事	埼玉県立歴史と民俗の博物館	学芸員	倉澤 麻由子
幹事	埼玉県立歴史と民俗の博物館	主事	高橋 優美

令和2年度 事業報告

事業	日時・会場	事業内容
第1回役員会	6月 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長・監事等の選出 ・令和元年度事業報告・決算報告の審議・承認 ・令和2年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認
総会	6月 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・新役員等の改選(案)の審議・承認 ・令和元年度事業報告・決算報告の審議・承認 ・令和2年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・緊急時相互支援検討委員会の報告 ・令和元年度地域振興支援事業の実績報告
地域チーフ館会議	第1回 9月25日(金) 第2回 2月 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興支援事業について ・各地域の活動状況の報告と課題について他
緊急時相互支援検討委員会	第1回 10月6日(火) 第2回 2月 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館等資料レスキュー活動について ・緊急時連絡訓練について ・情報収集活動他
地域振興支援事業 審査委員会	2月18日(木) 県立歴史と民俗の博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度地域振興支援事業計画の審査 ・令和2年度地域振興支援事業の実績に係る審査
第2回役員会	3月17日(水) 県立歴史と民俗の博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告(案)・決算報告(見込み)の審議 ・令和3年度事業計画(案)・予算(案)の審議
見学会	※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	
前期研究会・見学会	※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	
県内研修会・見学会	11月19日(木) さいたま市岩槻人形博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・「岩槻人形博物館について～開設に至る経緯と当館の役割～」 講師 館長 林 宏一 氏、副館長 川田 泰則 氏 ・特別展「こどものかたちー創作人形の力展」見学 ・参加者 29名
後期研究会・見学会	1月 県立歴史と民俗の博物館 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	<ul style="list-style-type: none"> ・講演及び展示見学
刀剣取扱研修	2月 県立歴史と民俗の博物館 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	<ul style="list-style-type: none"> ・刀剣資料の取扱い管理に関する研修会
文化財レスキュー ・防災研修会	2月 県立歴史と民俗の博物館 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県文化財保護協会・埼玉協との共催
加盟館園職員名簿	8月配布	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデータ(PDF)で配布
加盟館ガイドマップ	12月発行(18,000部)	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟各館園の所在地及び概要を紹介したガイドマップを作成し、県内の観光案内所等へ配布
緊急時連絡訓練	12月実施	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟館園86施設が参加
彩の国「新しい生活様式」 安心宣言の作成	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の取組として安心宣言を作成

令和2年度 埼玉県博物館連絡協議会 決算報告

1. 一般会計

(収入の部)

項目	予算額	収入額	比較増減額	備考
会費	1,036,000 (1,052,000)	1,064,000 (1,046,000)	28,000 (△ 6,000)	21,000 × 16 館 = 336,000 14,000 × 17 館 = 238,000 10,000 × 49 館 = 490,000
参加費	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
雑収入	10 (10)	9 (10)	△ 1 (0)	預金利子 9
繰越金	241,986 (584,340)	241,986 (584,340)	0 (0)	前年度より繰越 241,986
計	1,277,996 (1,636,350)	1,305,995 (1,630,350)	27,999 (△ 6,000)	

(支出の部)

項目	予算額	支出額	執行残	備考
旅費	40,000 (50,000)	6,688 (25,852)	33,312 (24,148)	委員会出席旅費・事務局旅費 6,688
事務費	80,000 (110,000)	71,559 (75,986)	8,441 (34,604)	通信運搬費 9,486 消耗品費 0 インターネット回線使用料 56,495 サーバーレンタル料 5,568
事業費	1,068,000 (1,318,000)	817,650 (1,167,116)	250,350 (150,884)	県外研修会費 0 地域別連絡協議会費 326,860 地域振興支援事業費 0 加盟館間ガイドマップ作成費 489,170 研究金費 1,620
報償費	20,000 (20,000)	0 (20,000)	20,000 (0)	講師謝金 0
繰出金	50,000 (100,000)	50,000 (100,000)	0 (0)	災害対策準備金として 特別会計へ繰入 50,000
予備費	19,996 (38,350)	31,158 (0)	△ 11,162 (38,350)	ルーターの故障による交換費用 15,068 セキュリティソフトの更新 16,090
計	1,277,996 (1,636,350)	977,055 (1,388,364)	300,941 (247,986)	

(収支の部)

項目	金額	備考
収入済額	1,305,995 (1,630,350)	
支出済額	977,055 (1,388,364)	
差引残額	328,940 (241,986)	(次年度へ繰越し)

2. 特別会計

(収入の部)

項目	予算額	収入額	比較増減額	備考
繰入金	50,000 (100,000)	50,000 (100,000)	0 (0)	
繰越金	500,000 (400,000)	500,000 (400,000)	0 (0)	
計	550,000 (500,000)	550,000 (500,000)	0 (0)	

(支出の部)

項目	予算額	支出額	執行残	備考
災害対策準備金	550,000 (500,000)	0 (0)	550,000 (500,000)	
計	550,000 (500,000)	0 (0)	550,000 (500,000)	

(収支の部)

項目	金額	備考
収入済額	550,000 (500,000)	
支出済額	0 (0)	
差引残額	550,000 (500,000)	(次年度へ繰越し)

監査報告

上記のとおり相違ありません

令和3年 4月 16日

新陸市立歴史民俗資料館長

川端 真良



戸田手巨郷土博物館長

高屋 朋利



令和3年度 事業計画 (案)

【第3号議案】

事業	日時・会場	事業内容
第1回役員会	4月22日(木) 県立歴史と民俗の博物館 (⇒書面開催に変更)	・令和2年度事業報告・決算報告の審議 ・令和3年度事業計画(案)・予算(案)の審議
総会	4月22日(木) 県立歴史と民俗の博物館 (⇒書面開催に変更)	・令和2年度事業報告・決算報告の審議 ・令和3年度事業計画(案)・予算(案)の審議 ・緊急時相互支援検討委員会の報告 ・令和2年度地域振興支援事業の実績報告
地域チーフ館会議	2回(7月・2月) 県立歴史と民俗の博物館	・地域振興支援事業について ・各地域の活動状況の報告と課題について他
緊急時相互支援検討委員会	2回(7月・12月) 県立歴史と民俗の博物館	・博物館等資料レスキュー活動について ・緊急時連絡訓練について ・情報収集活動他
地域振興支援事業審査委員会	2月 県立歴史と民俗の博物館	・令和4年度地域振興支援事業計画の審査 ・令和3年度地域振興支援事業の実績に係る審査
第2回役員会	3月 県立歴史と民俗の博物館	・令和3年度事業報告(案)・決算報告(案)の審議 ・令和4年度事業計画(案)・予算(案)の審議
見学会	4月22日(木) 県立歴史と民俗の博物館 (⇒中止)	・特別展「青天を衝け～渋沢栄一のまなざし～」見学
前期研究会・見学会	8月 県内博物館・美術館施設	・講義及び施設・展示見学
県外研修会・見学会	未定 ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により実施を判断	・講義及び施設・展示見学
後期研究会・見学会	1月 県立歴史と民俗の博物館	・講演及び展示見学
刀剣取扱研修	未定 ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により実施を判断	・刀剣資料の取扱い管理に関する研修会
文化財レスキュー・防災研修会	2月 県立歴史と民俗の博物館	・埼玉県文化財保護協会・埼玉協との共催
加盟館園職員名簿	6月配布	・主にデジタルデータで配布
加盟館ガイドマップ	12月発行	・加盟各館園の所在地及び概要を紹介したガイドマップを作成し、県内の観光案内所等へ配布
緊急時連絡訓練	9月実施	
埼玉博連HPの更新	随時	・埼玉博連の活動に関する情報発信
災害等緊急時の情報集約	随時	・災害等緊急時の情報集約

令和3年度 埼玉県博物館連絡協議会 予算(案)

1. 一般会計

(収入の部)

(単位:円)

項目	令和2予算額	令和3予算額	比較増減額	備考(かっこ内は令和2予算)
会費	1,036,000	1,064,000	28,000	21,000 × 16 館 = 336,000 (336,000) 14,000 × 17 館 = 238,000 (210,000) 10,000 × 49 館 = 490,000 (490,000)
参加費	0	0	0	(0)
雑収入	10	9	△ 1	預金利子 9 (10)
繰越金	241,986	328,940	86,954	前年度より繰越し 328,940 (241,986)
計	1,277,996	1,392,949	114,953	1,392,949 (1,277,996)

(支出の部)

(単位:円)

項目	令和2予算額	令和3予算額	比較増減額	備考(かっこ内は令和2予算)
旅費	40,000	30,000	△ 10,000	委員会出席旅費・事務局旅費 30,000 (40,000)
事務費	80,000	261,000	181,000	通信運搬費 11,000 (10,000) 消耗品費(HPソフト更新、インク等) 25,000 (0) 備品購入費(PC等の更新) 155,000 (0) インターネット回線使用料 60,000 (60,000) サーバーレンタル料 10,000 (10,000)
事業費	1,068,000	991,000	△ 77,000	県外研修会費 6,000 (6,000) 地域別連絡協議会費 338,000 (330,000) 研究会費 2,000 (1,000) 緊急時相互支援委員研修費 10,000 (10,000) 地域振興支援事業費(振込手数料込み) 75,000 (201,000) 加盟館園ガイドマップ作成費 560,000 (520,000)
報償費	20,000	21,000	1,000	講師謝金(振込手数料込み) 21,000 (20,000)
繰出金	50,000	50,000	0	災害対策準備金として特別会計へ繰入 50,000 (50,000)
予備費	19,996	39,949	19,953	予備費 39,949 (19,996)
計	1,277,996	1,392,949	114,953	1,392,949 (1,277,996)

2. 特別会計

(収入の部)

項目	令和2予算額	令和3予算額	比較増減額	備考(かっこ内は令和2予算)
繰入金	50,000	50,000	0	一般会計より繰入れ 50,000 (50,000)
繰越金	500,000	550,000	50,000	前年度より繰越し 550,000 (500,000)
計	550,000	600,000	50,000	600,000 (550,000)

(支出の部)

項目	令和2予算額	令和3予算額	比較増減額	備考(かっこ内は令和2予算)
災害対策準備金	550,000	600,000	50,000	600,000 (550,000)

入会・退会の状況について

退会館

なし

新規入会館

- 1 白岡市生涯学習センター 歴史展示資料室
令和2年6月30日付けで入会
- 2 本庄早稲田の杜ミュージアム
令和2年11月1日付けで入会

新規加盟施設

さいたま市立博物館 分館 与野郷土資料館

* 加盟館園数 82館 90施設
(令和3年4月1日現在)

令和2年度 埼玉県博物館連絡協議会
地域振興支援事業審査委員会 報告

【日時】令和3年2月18日(木) 13時30分～15時30分

【会場】埼玉県立歴史と民俗の博物館 会議室

【出席者】

審査委員

委員長 埼玉県立歴史と民俗の博物館 副館長 水口 由紀子
委員 さいたま市大宮盆栽美術館 係長 石井 崇(代理)
委員 公益財団法人 遠山記念館 館長 鈴木 廣之
委員 八潮市立資料館 館長 高山 治
委員 秩父市立荒川歴史民俗資料館 館長 古田 秋吉

事務局 県立歴史と民俗の博物館 長谷川 晋、倉澤 麻由子

【申請者】

秩父地域 埼玉県立自然の博物館 学芸員 半田 宏伸
東部・北部地域 春日部市郷土資料館 学芸員 榎本 博

【審査結果】

(1) 令和3年度地域振興支援事業金交付申請の審査について

1月末までに申請のあった「令和3年度 埼玉県博物館連絡協議会 秩父地域館スタンプラリー」(申請者 秩父地域チーフ館/県立自然の博物館、申請額 73,156円)と「令和3年度 彩の国 東部・北部ミュージアムスタンプラリー」(申請者 東部・北部地域チーフ館/春日部市郷土資料館、申請額 200,000円)の2件について審査が行われた。

審査の結果、秩父地域の「令和3年度 埼玉県博物館連絡協議会 秩父地域館スタンプラリー」が令和3年度地域振興支援事業交付対象事業に採択された。

(補足) これまでは当該年度に採択された地域は、翌年度の申請を認めていなかったが、秩父地域については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、やむを得ず事業の実施ができなかったため、申請を受理して審査を実施した。

(2) 令和2年度地域振興支援事業実績報告について

令和2年度については、秩父地域が採択されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業の実施が困難であったため、申請を取り下げており、事業の実施はなかった。

ヒアリング状況

(1) 秩父地域チーフ館から申請事業の説明

【申請事業内容についてのヒアリング及び質疑応答】

申請者である秩父地域チーフ館の自然の博物館の半田氏から、事業の内容や目的及び効果等について、実施計画書や収支予算書等に基づき説明。

引き続き、その説明に対して、秩父地域チーフ館（半田氏）と審査委員との間で、質疑応答が行われた。質疑応答は以下のとおり。申請者は「チーフ館」で表記。

(審査委員) 秩父地域ブロックの取組となっているが、課題はあるか。

(チーフ館) 景品は各館に均等に配分しているが、ゴールになりやすい館があり、そういう館から景品が無くなってしまう。景品は都度、融通しているが連絡がうまく取れずに景品が切れてしまう館が出てくる。融通がうまくいかないと、早期終了になったり、景品が余ってしまう館がある。秩父地域の館は小規模で職員も再任用職員が1人在館しているだけなど、職員数が少なく、連絡が取りにくいことがある。

(審査委員) 景品の受け取りは9館どこでもできるのか。景品を変えた理由や、平成30年だけ秋に実施しているが、実施時期が秋と夏で変更している理由を教えてください。

(チーフ館) 参加者の半数が地元の方なので、毎年同じ景品だと参加意欲が下がってしまう可能性があるため、景品を変えている。基本デザインの狼は変わらない。

実施時期を秋にした時は、夏は繁忙期のためスタンプラリーの対応が困難となる場合があったため、平成30年度は実験的に秋に実施した。しかし景品は10%ほどしか出ず、参加者が夏に比べて減少した。このことは、夏は秩父地域の観光客が親子連れが多いのに対して秋は高齢者が多いという客層の違いが影響していると思われる。

(審査委員) 令和元年度の景品が残っていると思うが、それはどうするのか。

(チーフ館) 当館で全て回収し、保管している。時期が来たら同じような景品を作って、混ぜて配布するということを想定している。

(審査委員) 9館は1日で回れるのか。

(チーフ館) スタンプラリーの景品は4館で交換できるため、4館であれば1日で回ることは可能である。今までの傾向から見ると、例えば三峰山博物館で台紙をもらい下山し、近場の館を訪れたりしている。また、一部の館は近接しており、半日程度で4館回ることも可能である。

(審査委員) ターゲットを観光客にするか地元にするかで変わってくるかとも思うが、観光客にするのであれば、地元泊まってもらうためにも、あえて1日では回れない距離にするのもありなのかと思ったが、そういう部分を含めて考えて4館なのか。

(チーフ館) 今まででも3館や5館にしたこともあるが、3館だとすぐに回れてしまったり、5館だと伸びが悪かったため、4館が適当と考えている。観光客の参加も重要だが、地元の方に今まで行ったことのないジャンルの館を訪れてもらいたいという狙いもある。

(審査委員) 広報活動はどうしているか。

(チーフ館) 当館のホームページや Twitter、秩父の記者クラブへの投げ込み、秩父鉄道にお願いして、台紙を置いてもらえる場合は置かせてもらう。当館の輪転機で印刷し、各館に配布する。台紙はホームページでも PDF で公開するため、家でも印刷可能である。

(審査委員) 台紙は何か所に配布する予定か。

(チーフ館) 基本は各館で配布だが、役所や道の駅に置かせてもらったこともある。

(審査委員) 秩父地域を他の地域と比較したときに課題や問題点はあるか。

(チーフ館) 他地域に比べて、加盟館が少なく規模が小さい館が多い。そのためチーフ館は自然博がやっているが、チーフ館が担えない役割が埼博連の中で増えている。今は協力して役職や事業をなんとか回しているが、今後マンパワーの問題でスタンプラリーを含めて、対応が難しくなる館が出てくるかもしれない。

(2) 東部・北部地域チーフ館から申請事業の説明

【申請事業内容についてのヒアリング及び質疑応答】

申請者である東部・北部地域チーフ館の春日部市郷土資料館の榎本氏から、事業の内容や目的及び効果等について、実施計画書や収支予算書等に基づき説明。

引き続き、その説明に対して、東部・北部地域チーフ館（榎本氏）と審査委員との間で、質疑応答が行われた。質疑応答は以下のとおり。申請者は「チーフ館」で表記。

(審査委員) 景品の巫女の埴輪は東部・北部地域に所縁のあるものなのか。単価が 700 円とかなり高いと思うが…

(チーフ館) 行田市出土の埴輪である。すでに型のある既製品であるが、参加者の反応も良い。

(審査委員) 予算の問題が出ていて、中長期的な問題として補助金がないと事業が継続できないとしているが、700 円のこの景品でなければならない理由は何か。

(チーフ館) 何度も議論を重ねてきたが、当初は消しゴムを景品にしていた。しかし消しゴムは劣化してしまうことやもらってもあまり喜びがないのではないかという理由で埴輪の貯金箱になった。

(審査委員) 予算書の中で繰越金が 1700 円とあるが、地域別連絡協議会費の今年度の繰越金が 1700 円という事か

(チーフ館) 繰越金の中から 1700 円を使用する。

(審査委員) 景品は 24 館に均等に配布するのか。

(チーフ館) 均等配分が原則だが、規模の大きい館や元々来館者の多い館に融通しあっている。

(審査委員) 前回は実施しているが、景品のストックはどのくらいあるのか。

(チーフ館) シャープペンシル 200、埴輪 120 の在庫がある。令和 2 年度の予算で埴輪は補充したが、令和元年度の景品の出た数を見ると通常経費では賄えないと思われるので、交付金でさらに製作したい。

(審査委員) 予算に台紙の関する記載がないが、準備はどうするのか。

(チーフ館) ホームページからダウンロードしてもらう。また各館で印刷して配布す

る。

(審査委員) 広報活動はどうするのか。

(チーフ館) 各館でポスターを作ったり、ホームページ等で告知する。チーフ館や役員館で記者クラブに情報提供する。

(審査委員) 今までやってきたスタンプラリーの台紙の回収はしているのか。

(チーフ館) 台紙は回収している。

(審査委員) 分析はしているのか。

(チーフ館) している。昨年度の分析は前任のチーフ館が実施している。参加者は7～9歳ぐらいの子どもが多い。対象を中学生以下にしているのので、家族連れで参加してくれていると思われる。居住地の割合は東部38%、北部30%、県内56%、県外6%であった。

(審査委員) 小規模館の入場者数が少ないことを課題としているが、それに対する効果があるということか。

(チーフ館) 大いにあると思われる。

(審査委員) 埴輪は120個残っているようだが、値段は同じなのか。また高価なものだが、在庫をスタンプラリー以外に有効活用しようかといった話は地域の話し合いで出たりしないのか。

(チーフ館) 基本は次の年のスタンプラリーの景品に回すことにしている。8年間続けている事業のため、もし補助金がおりなくても、違う形で続けていくことになると思う。

(審査委員) これだけ在庫があるなら、他に有効活用の仕方もあるかと思ったが…

(チーフ館) 今のところ、加盟館からはそういった話は出てきていない。

(審査委員) 令和2年度にスタンプラリーをしていた場合には、今の在庫を使う予定だったのか。

(チーフ館) 使うつもりだった。今年度は中止となったが、事業を今後も継続していく予定のため、今年度も景品を制作した。加盟館からの理解は得られている。中長期的に継続していくためにも来年度は補助金を活用して製作したい。

(3) 令和2年度地域振興支援事業の実績報告について

(事務局) 今年度は、秩父地域が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業が中止となった。秩父地域からは辞退届が提出された。本来ならば、この場で事業の実績報告書が提出され、事業内容や実績、精算額などを審査していただく予定であったが、事業を辞退したため報告のみとする。

(各委員) 一同了承。

集 計 結 果

審査委員	秩父	東部・北部
A	22	23
B	27	26
C	25	22
D	26	28
E	29	27
合 計	129	126

埼玉県博物館連絡協議会 令和2年度地域振興支援事業 審査委員会コメント

申請事業 「令和3年度 埼玉県博物館連絡協議会 秩父地域館スタンプラリー」

本事業に関する意見

- ・参加者の半数が観光客であれば、台紙の配布先にホテルや旅館など（観光案内所など）も検討してみてはどうか。
- ・スタンプラリーを実施するにしても、デジタルにするなど先進的な取り組みも検討してみてはどうか。
- ・新型コロナウイルス禍でも、安心して実施できる方法を考えてほしい。
- ・事業の取り組み内容、事業効果ともに素晴らしいと考えるが、景品内容を刷新するという事で、過年度までの景品の残数の取扱いが若干気になった。
- ・景品や取組期間に工夫が見られた。
- ・広報活動も幅広い。
- ・実施要項が作成され、計画性があった。

埼玉県博物館連絡協議会 令和2年度地域振興支援事業 審査委員会コメント

申請事業 「令和3年度 彩の国 東部・北部ミュージアムスタンプラリー」

本事業に関する意見

- ・6館回って差し上げる景品の単価700円が適切なのかは、参加館で話し合う機会を設けてもよいのではないかと。
- ・事業を安定して継続させるために、交付金ありきではなく、景品の見直しや、製作費の縮小なども検討してみてはどうか。
- ・スタンプラリーを実施するにしても、デジタルにするなど、先進的な取り組みも検討してはどうか。
- ・新型コロナウイルス禍でも、安心して実施できる方法を考えてほしい。
- ・景品の内容に再検討の余地がないか考えて欲しい。特に単価をおさえて事業の継続性を担保する方策も検討してはどうか。
- ・大河ドラマで注目を集める地域を含んだ事業ということで、事業効果が大いに期待できる。
- ・スタンプラリーの景品単価が高い。もっと多くの人に景品を工夫して提供できないものか。
- ・24館という多くの館をまとめ取り組もうとする姿勢はすばらしい。
- ・実施要項がなく、計画性があまり分からない。

令和2年度 緊急時相互支援検討委員会の実施報告について

1 委員会の実施日時

第1回 令和2年10月6日(火) 13時30分～15時00分

第2回 令和3年2月 書面開催により実施

2 委員会の構成 * 令和元・2年度

委員長	県立歴史と民俗の博物館	岡本 健一	埼玉博連事務局次長
委員	県立文書館	加藤かな子	南部地区
委員	宮代町郷土資料館	横内 美穂	東・北部地区
委員	平和資料館	利根川 章彦	西部地区
委員	秩父美術館・佛教資料館	西 勝寿	秩父地区

事務局：歴史と民俗の博物館（企画担当）

3 報告

- (1) 第1回委員会において、緊急時連絡訓練の内容について検討し、令和2年度は台風による水害を想定し、実施することとした。
- (2) 令和2年12月11日～12月25日の期間で、緊急時連絡訓練を実施し、加盟館園86施設が参加した。
- (3) 第2回委員会（書面開催）において、来年度の緊急時連絡訓練は今年度とは異なる災害を想定して実施することについての提案があった。また、緊急時相互支援検討委員館の交代があるため、地域チーフ館と相互支援検討委員館が連携して有事に対応できるような訓練など、各ブロック内の協力・連携体制を一步進めるような訓練についても提案があった。

4 情報収集・情報提供

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館状況のとりまとめを実施した。
- (2) 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会では、熊本県教育庁文化課から依頼を受け、令和2年7月に発生した豪雨水害の文化財レスキューにより救出した被災文化財の応急処置用として地域史料保存箱20箱を提供したとの情報提供があった。

5 研修会の実施について * 東日本大震災後に3団体で連携して実施。

関係団体と以下の日程で実施について調整を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

(参考) 名称：令和2年度文化財レスキュー・防災研修会

日時：令和3年2月16日(火)

共催：埼玉県文化財保護協会、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会

会場：県立歴史と民俗の博物館 講堂

令和2年度 東・北部ブロック地域活動報告

(チーフ館：春日部市郷土資料館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
総会	8月18日	① 令和元年度事業報告・決算報告 ② 令和2年度役員の改選について ③ 令和2年度事業計画・予算 ④ ブロック加盟館園事業「スタンプラリー」について ⑤ その他の協議事業	(書面会議)

2 活動・事業等

名称	概要
スタンプラリー事業	例年実施している事業。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。来年度以降も事業を継続するため、景品を購入(補充)した。
地域館園交流・研修会	令和3年1月27日に本庄早稲田の杜ミュージアムで研修・見学会を開催するため準備をしていたが、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言のため中止とした。

3 その他特記すべき事項

--

令和2年度 東・北部ブロック地域 決算報告

チーフ館名 春日部市郷土資料館

令和3年3月31日

1 収入の部 (円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	32,770	32,770	0	令和元年度予算よりの繰越金
補助金	92,000	92,000	0	4000円×23館
雑収入	0	0	0	
計	124,770	124,770	0	

2 支出の部 (円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
事務費	4,000	0	4,000	
通信費	10,000	0	10,000	
事業費	100,000	93,280	6,720	スタンプラリー景品(埴輪貯金箱120個)の購入(補充)92400円 事務手数料880円
予備費	10,770	0	10,770	
計	124,770	93,280	31,490	

3 差引残額

収入(決算額) 124,770 支出額(決算額) 93,280 残額 31,490 円
 (残額は令和3年度に繰り越します。)

令和2年度 西部地域活動報告

(チーフ館：朝霞市博物館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
西部地域会議総会	4月3日(金) ～14日(火)	①令和元年度事業報告及び決算 ②令和2年度事業計画(案)及び予算(案) ③令和2年度役割分担	書面会議

2 活動・事業等

名称	概要
前期研修会	10月9日(金) 午後2時～3時35分 「災害と博物館」 講師：川崎市市民ミュージアム 館長 大野正勝氏 担当・会場：狭山市立博物館 参加者：14館 15人
後期研修会【中止】	2月13日(土) 午後1時30分～ 「城西大学水田美術館紹介」&教員連携による展覧会2本見学 講師：城西大学水田美術館 学芸員 紫村裕美氏 担当・会場：城西大学水田美術館
「催物案内」発行	4月 4～6月号 担当：遠山記念館 7月 7～9月号 担当：所沢航空発祥記念館 10月 10～12月号 担当：滑川町エコミュージアムセンター 1月 1～3月号 担当：新座市立歴史民俗資料館

3 その他特記すべき事項

- ・新規事業(スタンプラリー)については、コロナ禍によりスタンプラリー自体の可否についても懸案となったため、事業内容も含めて見直しを行う必要がある。作業部会は開催しなかった。
- ・コロナ禍における臨時休館等の情報集約・共有について、地域会議内で3回実施した。
 - ①12月：県立館臨時休館時 とりまとめ：毛呂山町歴史民俗資料館
 - ②1月：非常事態宣言発出時 とりまとめ：チーフ館
 - ③2月：非常事態宣言延長時 とりまとめ：チーフ館

令和2年度 西部地域 決算報告

チーフ館名 朝霞市博物館

令和3年3月31日

1 収入の部 (円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	515,962	515,962	0	元年度予算よりの繰越金
補助金	104,000	104,000	0	4,000円×26館
雑収入	5	4	1	利息
計	619,967	619,966	1	

2 支出の部 (円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
事務費	0	0	0	
通信費	3,000	980	2,020	郵送料
事業費	580,000	29,575	550,425	前期研修会講師謝金22,120円 費用弁償6,795円 振込手数料660円
予備費	36,967	0	36,967	
計	619,967	30,555	589,412	

3 差引残額

収入(決算額) 619,966 支出額(決算額) 30,555 残額 589,411 円
 619,966 — 30,555 = 589,411 円
 (残額は令和3年度に繰り越します。)

令和2年度 南部地域活動報告

(チーフ館：埼玉県立美術館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
第1回 南部地域会議	10月28日(木)	①令和元年度事業報告 ②令和2年度事業計画協議 ③令和2年度予算協議 ④企画展見学	埼玉県立近代美術館
第2回 南部地域会議	3月書面開催	①令和2年度事業報告 ②令和3年度事業計画協議 ③令和3年度予算協議	

2 活動・事業等

名称	概要
見学会	<p>①10月28日(木) 実施 埼玉県立近代美術館企画展「MEDE SUWARU - 今日みられる椅子」 見学</p> <p>②11月27日(金) 実施 南部地域視察研修会「南部地域の博物館に学ぶ」 鉄道博物館施設見学 講義「鉄道博物館 リニューアル概要」(副館長 岩見隆則氏)</p>

3 その他特記すべき事項

<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた研修会は中止、第2回南部地域会議は書面開催とした。</p>
--

令和2年度 南部地域 決算報告

チーフ館名 埼玉県立近代美術館
令和 3年3月31日

1 収入の部 (円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	138,546	137,666	880	振込手数料 880円
補助金	92,000	92,000	0	地域別連絡協議会費 4,000円×23館室=92,000円
雑収入	0	0	0	
計	230,546	229,666	880	

2 支出の部 (円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
事務費	1,000	0	1,000	
通信費	5,000	288	4,712	見学会依頼文書送付(郵送料)84円 監事館連絡(郵送料)204円
事業費	200,000	18,972	181,028	見学会入館料 15,960円 見学会打合せ旅費 1,228円 見学会事務局担当者旅費 1,784円
予備費	24,546	0	24,546	
計	230,546	19,260	211,286	

3 差引残額

収入(決算額) 229,666 支出額(決算額) 19,260 = 残額 210,406 円
(残額は令和3年度に繰り越します。)

令和2年度 秩父地域活動報告

(チーフ館：県立自然の博物館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
第1回会議	6月	⇒感染症拡大防止のため中止。 別途、書面にて事業の実施についてを検討した。	
第1回会議	12月16日 (水)	①感染症拡大防止対策について ②令和3年度事業計画検討	会場：自然の博物館

2 活動・事業等

名称	概要
秩父地域館 スタンプラリー	9館共催のスタンプラリー 期間：令和2年7月18日(土)～9月27日(日) →感染症拡大防止のため中止した。

3 その他特記すべき事項

--

令和2年度 秩父地域 決算報告

チーフ館名 県立自然の博物館

令和3年3月31日

1 収入の部 (円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	1,944	1,944	0	
補助金	36,000	36,000	0	4,000円×9館分
雑収入	0	0	0	
計	37,944	37,944	0	

2 支出の部 (円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
事務費	0	0	0	
通信費	0	0	0	
事業費	37,944	0	37,944	感染症拡大防止のため事業を中止
予備費	0	0	0	
計	37,944	0	37,944	

3 差引残額

収入(決算額) 37,944 支出額(決算額) 0 = 残額 37,944 円
 (残額は令和3年度に繰り越します。)

令和3・4年度 緊急時相互支援検討委員会及びIT担当館について

令和3・4年度 緊急時相互支援検討委員会

役職	地域	館名	職名	氏名
委員	南部	さいたま市立博物館	館長	高力 弘
委員	東・北部	宮代町郷土資料館	主査兼学芸員	横内 美穂
委員	西部	埼玉県平和資料館	主査	服部 武
委員	秩父	秩父美術館・佛教資料館	館長	西 勝寿
委員長	事務局	埼玉県立歴史と民俗の博物館	主席学芸主幹	岡本 健一

令和3・4年度 IT担当館

役職	地域	館名	職名	氏名
委員	南部	蕨市立歴史民俗博物館	主事	堀 恵理奈
委員	東・北部	埼玉県立川の博物館	学芸員	藤田 宏之
委員	西部	富士見市立資料館（難波田城資料館）	館長	早坂 廣人
委員	秩父	埼玉県立自然の博物館	担当課長	飯島 俊
委員長	事務局	埼玉県立歴史と民俗の博物館	担当部長	長谷川 晋

埼玉県博物館連絡協議会会則

(名称)

第一条 本会は、埼玉県博物館連絡協議会と称する。

(所在)

第二条 本会は、事務局を会長の所属する博物館（類似の施設を含む。以下同じ。）に置く。

(目的)

第三条 本会は、各博物館相互の連携を緊密にし、博物館事業の振興を図ることを目的とする。

(事業)

第四条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 地域別連絡協議会の開催
- 二 研究会・研修会・視察などの開催
- 三 情報の交換
- 四 会誌・研究物の刊行
- 五 災害時における相互支援活動
- 六 その他必要な事業

(会員及び会費)

第五条 本会は、埼玉県内の博物館を会員として組織し、会員は、次項に定める会費を毎年度納入するものとする。

2 会費は、毎年度4月1日現在のそれぞれの博物館の職員数に応じて、次の各号に定める額とする。ただし、この規定により難しい場合は、一会員10,000円とする。

- | | | |
|---|-----------|---------|
| 一 | 1人から5人まで | 10,000円 |
| 二 | 6人から10人まで | 14,000円 |
| 三 | 11人以上 | 21,000円 |

(役員)

第六条 本会に、次の役員を置く。

- | | | |
|---|-----|-----|
| 一 | 会長 | 1名 |
| 二 | 副会長 | 2名 |
| 三 | 理事 | 若干名 |
| 四 | 監事 | 2名 |

(役員の仕事)

第七条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- 一 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 二 副会長は、会長を助け、会長に事故あるときは、その仕事を代行する。
- 三 理事は、会長及び副会長とともに役員会を組織し、会務を整理する。
- 四 監事は、会計を監査する。

(役員を選出)

第八条 役員を選出は、次のとおりとする。

- 一 会長及び副会長は、理事が互選し、総会で承認する。
- 二 理事は、南部、東・北部、西部、秩父の各地域の会員からそれぞれ選出し、総会で承認する。
- 三 監事は、役員会で推薦し、総会で承認する。

(役員の仕事)

第九条 役員の仕事は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(顧問)

第十条 本会に、顧問を置くことができる。ただし、任期は2年とする。

(会議)

第十一条 本会の会議は、総会及び役員会とする。また、必要に応じて委員会等を置くことができる。

2 会議は、会員の2分の1以上の出席(委任状を含む)をもって成立する。

3 議事は、出席会員の過半数により決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会)

第十二条 総会は、年1回開催するものとする。ただし、会長が必要と認めたとき又は会員の3分の1以上の要求があったときは、臨時に総会を開くことができる。

2 総会は、次の事項を審議する。

- 一 会則の改正
- 二 事業計画及び予算
- 三 事業報告及び決算
- 四 役員を選任
- 五 その他重要な事項

(役員会)

第十三条 役員会は、会長が必要と認めたときに開き、次の事項を審議する。

- 一 総会への提案事項
- 二 その他必要な事項

(表彰等)

第十四条 本会(加盟の館及び園を含む。)の振興に著しい功績があった場合又は本会の事業推進に積極的な協力があった場合は、その都度、役員会の承認を得て、これを表彰し、又は感謝の意を表することができる。

(経費)

第十五条 本会の経費は、会費、補助金、寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第十六条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 総会前の事業及び予算の必要な範囲の執行については、会長の専決により行うことができる。

(事務局)

第十七条 本会の会務を処理するため、事務局に次の職員を置く。

- 一 事務局長 1名
- 二 事務局次長 1名
- 三 幹事 若干名

(細則)

第十八条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は別に定める。

付 則

この会則は、昭和49年10月30日から施行する。

- 平成7年4月28日一部改正
- 平成11年4月28日一部改正
- 平成17年5月19日一部改正
- 平成18年5月31日一部改正
- 平成26年4月24日一部改正
- 平成28年4月22日一部改正

令和3年度 埼玉県博物館連絡協議会 加盟館園リスト

令和3年4月1日 現在

番号	館園名	番号	館園名
1	朝霞市博物館	42	女子栄養大学香川昇三・綾記念展示室
2	跡見学園女子大学花咲記念資料館	43	鈴木酒造株式会社 酒蔵資料館
3	入間市博物館 ALIT(アリット)	44	草加市立歴史民俗資料館
4	うらわ美術館	45	秩父市立荒川歴史民俗資料館
5	桶川市歴史民俗資料館	46	秩父錦「酒づくりの森」酒蔵資料館
6	春日部市郷土資料館	47	秩父宮記念三峰山博物館
7	学校給食歴史館	48	秩父美術館・仏教資料館
8	上里町立郷土資料館	49	鉄道博物館
9	川口市立アートギャラリー・アトリア	50	東玉・人形の博物館
10	川口市立科学館・サイエンスワールド	51	(公財)遠山記念館
11	川口市立文化財センター分館郷土資料館	52	所沢郷土美術館
12	川越市立博物館	53	所沢航空発祥記念館
13	川越市立美術館	54	戸田市立郷土博物館
14	川越歴史博物館		戸田市立郷土資料博物館(分館)彩湖自然学習センター
15	(公財)河鍋暁斎記念美術館	55	(財)長島記念館
16	木の博物館 木力館	56	長瀬町郷土資料館
17	行田市郷土博物館	57	清川町エコミュージアムセンター
18	久喜市立郷土資料館	58	新座市立歴史民俗資料館
19	熊谷市立熊谷図書館 美術・郷土資料展示室	59	日本工業大学工業技術博物館
20	(公財)原爆の図丸木美術館	60	日本万華鏡博物館
21	埼玉県平和資料館	61	蓮田市文化財展示館
22	埼玉県防災学習センター	62	鉢形城歴史館
23	埼玉県立川の博物館	63	羽生市立郷土資料館
24	埼玉県立近代美術館	64	飯能市立博物館
25	埼玉県立さきたま史跡の博物館	65	武甲山資料館
26	埼玉県立自然の博物館	66	富士見市立資料館(本館)水子貝塚資料館
27	埼玉県立文書館		富士見市立資料館(分館)難波田城歴史館
28	埼玉県立嵐山史跡の博物館	67	ふじみ野市資料館(ふじみ野市立大井郷土資料館)
29	埼玉県立歴史と民俗の博物館		ふじみ野市資料館(ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館)
30	さいたま市岩槻人形博物館	68	三郷市立郷土資料館
31	さいたま市大宮盆栽美術館	69	ミニ博物館 地球&宇宙
32	さいたま市立博物館	70	宮代町郷土資料館
	岩槻郷土資料館	71	三芳町立歴史民俗資料館
	与野郷土資料館	72	毛呂山町歴史民俗資料館
	浦和くらしの博物館民家園	73	八潮市立資料館
	旧坂東家住宅見沼くらしっく館	74	(公財)山崎美術館
	さいたま市立浦和博物館	75	(財)やまとーあーとみゅーじあむ
33	さいたま市立漫画会館	76	横瀬町歴史民俗資料館
34	さいたま水族館	77	吉見町埋蔵文化財センター
35	埼玉伝統工芸会館	78	立正大学博物館
36	さいたま文学館	79	早稲田大学 考古資料館
37	坂戸市立歴史民俗資料館	80	蕨市立歴史民俗資料館
38	幸手市郷土資料館	81	【入会】白岡市生涯学習センター歴史展示室
39	サトエ記念21世紀美術館	82	【入会】本庄早稲田の杜ミュージアム
40	狭山市立博物館		
41	城西大学水田美術館		

80館 + 入会2館 = 合計 82館